

令和8年度 部局経営目標

年度	令和8年度	作成日	令和8年4月1日
部局名	総合政策部	部局長名	木村 辰生
(1) 部局の方向性 (テーマ)			
<p>・真庭ライフスタイル・「共生社会まにわ」・SDGsの実現 第3期総合戦略に掲げる目標の達成に向けたアクションプランの取組の推進により、「真庭ライフスタイル」を実感できる共生社会、循環型社会の実現を目指す。</p> <p>・「こどもまんなか」のまちづくりの推進 こどもの権利条例の制定運動を通じて、こどもの意見表明や社会参加を促進し、市民間のつながりを育み、だれもが参画できる持続可能な地域の実現を目指す。</p> <p>・人口減少対策の取組強化 急速に進む人口減少に対し、第3期総合戦略の横断的取組の柱である自然減対策、社会減対策とともに、一定の人口減を前提とした持続可能な地域づくりについての取組を、全庁及び関係機関、多様なステークホルダーとの連携を強化し、推進する。</p> <p>・地域自治・協働のまちづくりの推進と特色ある地域振興 地域の自主自立の動きを支援し、地域自治の確立と地域の活動量の増大を目指すとともに、選ばれる地域を目指し、地域活動の活性化と地域力の向上、地域の魅力アップのため、新たな公共の担い手の育成を促進する。</p> <p>・広聴広報の充実と選ばれる地域を目指した情報発信 市民や地域の声を広く聞き、対話を通じて課題の共有を図り、課題解決に向けた施策立案に反映させていく。 真庭市で暮らすことの魅力、地域資源の魅力を市内外に戦略的な発信を行い、定住の促進と関係人口、移住者の増加を目指す。</p> <p>・行政経営の推進、dXの推進による市民サービスの向上 市役所の組織としての力、政策形成能力、政策実行能力の向上のため、行政dXの推進による効率的、効果的な行政経営に努めるとともに、民間の経済、地域活動へのdX推進により、豊かで活力ある地域の実現を目指す。</p>			
(2) 事業成果目標 (重点事業)			指標名及び目標値
<p>●人口減少抑制対策 社会減対策にかかる対策 人口減少対策官、地域魅力化コーディネーター、地域おこし協力隊と連携した地域自治維持、地域活動支援 地域活動、市民活動活動支援 移住促進、移住者支援は就業、継業、起業、就農、住居など他部局と連携を密に行い、各種施策を効果的に活用した支援を推進 新婚世帯の住居等の新生活支援による定住、定着支援 結婚に繋がる出会いの機会・環境の創出</p>			指標:①市内成婚数 ②移住者数 目標値:①115組②30人 (令和7年度実績値 ①121組 ②34人)
<p>●こどもまんなか関連 こどもの権利条例制定事業 こどもをまちづくりの中心に位置づけ、こども一人ひとりの権利を尊重しながら、だれもが自分の思いや考えを安心して伝え、地域や社会に参加できる環境づくりを進めるため、市民やこどもとの対話を中心に条例制定を進める。 ・こどもの権利や「こどもまんなか」を考えるための対話やワークショップの開催 ・講演会等による啓発</p>			指標:ワークショップ等の延べ参加者数 目標値:100% (令和7年度実績値: -)

<p>1-①キャッシュレス・市民ポイント推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公金収納や市内商店で利用可能な「まにこいん」を活用し、「新しい生活様式」の実現とこれを念頭に置いた地域経済の活性化を図る。また、市民ポイント付与の仕組みも併せて活用し、SDGs・共生社会の実現に向けた市民行動の効果的な促進を図る。 ・上記基盤の利用促進に関するポイント付与・還元キャンペーンを実施する。 ・行政や暮らしの情報ポータルアプリ「まにあぶり」の機能を拡充し、市民と行政及び市民相互のやりとりを可能とすることで、市民参加型のまちづくりや市民生活の利便性向上を図る。 	<p>指標:①まにこいん決済額(累計) ②加盟店数</p> <p>目標値:①10.0億円 ②350店</p> <p>(令和7年度実績値:①7.4億円 ②297店)</p>
<p>2-①デジタル共創拠点調査研究事業</p> <p>産学官の連携により、デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進するための場づくりを目指す。その中核として、「デジタル共創拠点」を構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のデジタル拠点構築に係る事業 ・地域DXの推進に必要な環境整備に係る事業 	<p>指標:拠点の運営体制構築に向けた協議回数</p> <p>目標値:3回</p> <p>(令和7年度実績値: -)</p>
<p>2-②情報化計画推進事業</p> <p>ネットワーク・システムの最適化(インターネット、クラウド利用環境への移行)環境維持、庁内ネットワーク機器更新、POP冗長化</p>	<p>指標:作業進捗率</p> <p>目標値:100%</p> <p>(令和7年度実績値(見込み):100%)</p>
<p>3-①政策形成や事業評価における市民参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市長と話そう!」により、市民の生の声を行政経営に生かすとともに、その開催をきっかけに地域が活性化するよう積極的な開催を促します。 	<p>指標:市長と話そう!開催数</p> <p>目標値:15回</p> <p>(令和7年度実績値:17回)</p>
<p>3-②広報広聴推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民一人一人を有効なメディアチャンネル(広報媒体)と捉え、セミナーなど発信力を高める取組を通じ、地域(まち)を語れる、発信できる人を増やし、シビックプライドの醸成と真庭市の魅力の向上を目指す。 ・情報発信に積極的で関心の高い市民らによるプラットフォーム(仕組み)の構築を目指し、意見交換を行う交流会を開催する。 	<p>指標:①セミナー、ワークショップ実施数②セミナー、ワークショップ参加者数③交流会開催数④交流会参加者数</p> <p>目標値:①3回②45人③1回④15人</p> <p>(令和7年度実績値:①3回②81人③2回④23人)</p>
<p>3-③インターネットメディア(ホームページ、SNS)の効果的活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページは、情報発信、情報共有といった複合的な役割を持ちます。情報リテラシーの習得・向上に努め、適切な運用を行い、市民が求める情報を届けます。 ・市民目線を意識した、より分かりやすい情報発信に努めます。 ・安全、安心に繋がる情報の迅速な発信に努めます。 ・SNSの活用など市民参加を促し、真庭を発信する市民を増やします。 	<p>指標:アクセス件数</p> <p>目標値:450万件</p> <p>(令和7年度実績値(見込み):395万件)</p>